

《北谷海人の会・安全対策》

●スノーケル人数比

【ゲスト8名：インストラクター1名】

・さらに、ゲストにはバディシステム（2人1組）を組んでもらい、安全にツアーを開催できるようにしています。

●ケガ防止の為の装備

・まず第一に大事なものは浮力確保です。

・どのマリンスポーツもライフジャケットを必ず着用していただいています。

・担当スタッフは浮き具を持って引率しますので泳ぐのに不安な方にはつかまって頂けず。

・スノーケル中やマリンスポーツ体験中には沖からも栈橋からもすぐに対応できるよう、複数の船舶を所有しております。

●ツアー催行の気象条件の判断基準

・天気に関しては、天気予報、気象予報、風、水温、干満の気象情報をスタッフ全員が常に最新のものをチェックする事により共通認識し、把握に努めます。

それは日々行っており、ガイドの気象に関する知識と経験を重ね合せ、ツアー予定の現場の天候の把握に努めます。

今後予測されるであろう気象の変化を様々な角度から把握し現況を確認しながらツアーを催行しています。天候の悪い場合でも、少しでも楽しく体験できるよう常に考えています。

しかし、参加者が楽しめないと判断したときは当日の朝の時点でツアーを中止する場合があります。

ツアーを実際に行なうガイドはツアー中でも本部と連絡を取る事が出来るよう、携帯電話、トランシーバー等必ず連絡手段をもっております。

天候に関する重大な変化等がある場合は、本部から情報を受け取ります。

またガイドの判断により、ツアーのメニュー等の変更を行うこともあります。

これはガイドが参加者の安全を確保できないと感じた時に行います。

北谷海人の会では、安全を第一に考え参加者の皆さんが

たのしんでいただくことができないと判断した場合、ツアーを中止します。

ツアーを中止する場合の目安は、以下の通りです。

- ・ 気象に関する、各種警報・注意報が出ている場合
→具体的には、波浪，大雨，雷，強風など。

- ・ 各種警報・注意報の基準は、各地域により異なります。
沖縄中部地方の各種警報・注意報

- ・ 台風による気象変化が予測される場合
→具体的には、風や雨などが強くなり海がシケる場合など。

- ・ 悪天候が続くことが予測される場合
→ツアー当日の朝、風雨が強い場合など状況に改善が見込まれない場合ツアーを中止します。

上記の事に従い、これまで大きな事故も無く皆様の安全を確保し、確実に楽しいツアーを催行してまいりました。
今後も安全の確保に努めすばらしいマリン体験を堪能していただけるように努力していきます。

有限会社 北谷海人の会

安全対策に関する主な取り組みについて

- ・水難救助員、スノーケリングガイド、ガイドダイバーの在籍

沖縄県条例（沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全確保等に関する条例）で定める水難救助員資格、スノーケリングガイド資格、ガイドダイバー資格を有するスタッフが在籍

- ・沖縄県公安委員会「安全対策優良海域レジャー提供業者」の指定（通称：マル優）

- ・安良波公園アラハビーチにおける監視等業務委託の受託

海水浴場における監視業務を安良波公園アラハビーチにて行っており、沖縄県条例等で定める資格基準をクリアした水難救助員が在籍しております。

- ・アラハビーチ救難所の運用

「公益社団法人 琉球水難救済会」による救難所指定を受けており、アラハビーチを拠点として近隣海域における海難事故等に対する救助活動を実施しております。

- ・ニライ消防団機能別消防分団水上バイク隊

ニライ消防本部が管轄する水域において、水難事故事案へ迅速に対応することに特化した「水上バイク隊」に所属するスタッフが在籍しています。

※在籍スタッフの主な保有資格（令和5年3月現在）

- ・日本赤十字社 水上安全法救助員
- ・日本赤十字社 救急法救急員
- ・ニライ消防本部 上級救命講習
- ・公益社団法人 日本スポーツ施設協会 認定スポーツ救急員
- ・公益社団法人 琉球水難救済会 救助員
- ・日本ライフセービング協会 アドバンスサーフライフセーバー
- ・日本ライフセービング協会 ベーシックサーフライフセーバー
- ・PADI オープンウォータースクーバインストラクター
- ・NAUI ダイブマスター
- ・潜水土免許
- ・小型船舶操縦免許（特殊・二級・一級・特定）
- ・日本防災士機構 防災士

など